



国立自然史博物館 花を学ぶ子どもたち



写真 公園に点在するフォーリー



写真 科学産業都市のジェオード



ラ・ヴィレット地区 音楽都市 コンセルパトワール



バスティーユに生まれた新しいオペラ座



新しい国立図書館トレビアック



イスラム文化の発信と交流 アラブ世界研究所



パンピドセンターの祭典の光景



同上 ストロブンスキーの祭



陽光が広がるまで フォーラム・ド・アール



写真 総合施設 パレオムニススポーツ



ベルシー地区の夜景 (1)パリ最大の建物 大蔵省



ライトアップし 夜の魅力を加えた ガルニエオペラ



駅舎を新生 世界から人を集める オルセー美術館

特別寄稿



大転換期を迎えた日本の都市への大きな期待

2003年小泉総理の私的顧問機関として観光立国懇談会が発足し、私はその座長を務めさせていただきました。先進国の中でも最下位に近い日本への観光客数をどう増加させるか、世界から人を招くためにいかに日本の自然や都市をみがきあげるか、をテーマに議論を重ね、観光立国宣言をするともに多

人気が博しています。第五の柱は歴史です。その代表は先述のオルセー美術館がそうです。少しおくらせてグランプロジェクトに追加され1994年に改装開館した国立自然史博物館もそれにあたります。

様々な施策を展開することとなりました。この会議は引き続き観光立国戦略会議として進められています。この6月に成立した景観法三法もその成果のひとつで、それらは今後の政策の大転換ともいえるべきものでしょう。逆説的というならば今後の都市の魅力の醸成は、従来のような住民本位のまちづくりだけでは駄目という事です。これからは訪れてよい街でなければなりません。それには街がわかりやすい、歩く楽しさがある、おいしい食べ物と飲み物がある、そして美しくかつ心地よい、つまり人の目と口と鼻、そして耳を楽しませるすべての要素を備えることが共通する原則です。訪れてよい街はそのまま住んでもよい街ではないでしょうか。パリには一千年の歴史に培わ

れた本物があります。本物の人情、本物のサービス、本物の生きる知恵、それらが時間によってさらに磨かれ価値づけられています。時代は変わりますが、しかし過去はそのなかにあつて正當に生き続けます。世界のどの都市よりもパリを訪れる人は歴史を実感し、また激しく動きつつある現代をも実感するのです。そして歴史と現代が実は同じものであることを理解します。歴史のない現代はなく、現代のない歴史も意味を持ちません。舞台装置を欠いた役者がただの人であり、役者を欠いた舞台装置がただの飾り物にすぎない。世界に比類のない独自の歴史と文化があり、現代をもいきいきと生き続ける日本の都市の明日へ、大転換期を迎えて私の期待もまた大きいものがあります。

PARIS

最初の柱はコミュニケーションで、冒頭に述べたラ・デファンス地区に1989年に完成し、同時にパリサミットも開催された新凱旋門(グランドアルシエ)は、コンコルド広場、シャンゼリゼ通り、本来の凱旋門とを一直線に結ぶ軸線上に建っています。しかしこの地上には車の姿は全くなく、車は地下に入っ

て先へ回り込む設計となっています。これは新凱旋門が過去の直接の延長でもなければ、過去のとの断絶でもない、過去の知恵を掘り起こしながら未来の道へ活かそうとする、過去とのいわば「切れつづき」のうちに転換期の現代が訪れつつあることを示すものです。ガラスと大理石の二辺が110メートルの巨大な二つの建物は最上部で結ばれ、国と国、人と人とのコミュニケーションによる交流と共生をめざす現代の船の姿を象徴しています。

1987年にセーヌ河畔に出来た「アラブ世界研究所」は、イスラム文化の発信という異文化に對するパリの寛容さだけでなく、電気ルーバーで一つの窓に70あるイスラム紋様が変化するというジャン・ヌーベルの斬新で美しい設計によってグランプロジェクトの最高の建築と評価されました。ここでは人体と建造物、写真界と建築界、イスラム世界とキリスト教世界の対話と

交流を可能にしている、世界のコミュニケーションセンターとしてのパリに極めてふさわしいものといえるでしょう。さらに1996年世界最大規模の新しい国立図書館トレビアック(新BN)が若手建築家ドミニク・ペローにより、書籍を開いて並べたようなデザインで完成し、世界中どこからでも必要な図書や資料を予約した時刻に取り揃えるという画期的なサービスを可能にしています。この国立図書館とそのため新しく開通した地下鉄14号線の駅名にはフランスワ・ミッテランという名が添えられ、グランプロジェクトに對する国家元首の執念を見る思いがします。

二つ目の柱は芸術です。ルーヴル宮から大蔵省をベルシー地区へ移し、そのあとの大空間を

活用した世界最大の美術館「グランルーヴル」は、エントランスとなったガラスと鉄のピラミッドによって世界的に賛否の議論を巻き起こし、それによってひろく知られ大成功を収めています。またフランス革命の発端となったバスチーユには1989年に新しいオペラ座が生まれ、パリ東北のラ・ヴィレット地区には新しいコンセルパトワール国立高等音楽院、コンサートホール、音楽博物館を擁する音楽都市が誕生しています。

同じくこのラ・ヴィレット地区には大規模な科学産業都市が出現し、数々の教育的展示を行っています。なかも直徑36メートルの球体映像施設ジェオードがこどもたちをひきつけています。科学技術が第三の柱です。第四の柱はスポーツです。技術文明の進展によって人間の身体を喜ばせる技術が成熟した今日では、自分の手足や頭を動かして自分で自分を喜ばせなければなりません。スポーツとは古いフランス語のデポルテ すなわち「心を他に移す」からきており、楽しむために身体を動かすことを意味しています。パリ東南のベルシー地区では1983年に、17000席24種類の競技に對応できる総合施設 パレ・オムニススポーツが建設され、日本の大相撲のパリ公演も行われ

活用の世界最大の美術館「グランルーヴル」は、エントランスとなったガラスと鉄のピラミッドによって世界的に賛否の議論を巻き起こし、それによってひろく知られ大成功を収めています。またフランス革命の発端となったバスチーユには1989年に新しいオペラ座が生まれ、パリ東北のラ・ヴィレット地区には新しいコンセルパトワール国立高等音楽院、コンサートホール、音楽博物館を擁する音楽都市が誕生しています。